

今週（2月13日から2月16日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積みの最終週となったため、徐々に調達動きが活発化する展開となった。当座預金残高は13～14日は360兆円程度、その後は15日の年金定時払いによって大幅に増加し、360兆円台後半となった。

無担保コールO/N物は、積みの最終日を意識した参加者から高めのビッドが入ったため、13～15日までは浅いマイナスでの出会いが中心となる強い展開となったが、新しい積み期となった16日の取引ではやや落ち着きが見られた。出会いの水準は、13日は▲0.04～▲0.02%の出会いから始まり、一巡後はややレートを下げて▲0.05%台後半から▲0.04%での出会いが中心となった。14日はさらに調達サイドの勢いが強まり、朝方の出会いは▲0.035～▲0.015%の水準となった。積み最終日の15日は、前日までに調整を終えた先が多かったことに加えて、年金定時払いの影響もあったため調達サイドの過熱感は和らぎ、朝方こそ▲0.04～▲0.02%の高めの水準で出会いがついたものの、その後は▲0.06%台での出会いが見られるなど、14日までよりも低下した。16日は新しい積み期間になったことから全体的に調達意欲は低下し、▲0.06～▲0.03%が出会いの水準となった。無担保コールの市場残高は週を通して8兆円後半で推移した。ターム物は、先週までと同様、調達サイドの参加者は多く見られているものの、運用サイドの参加者が少なく、出会いが付き辛い状況が続いた。

固定金利方式の共通担保資金供給オペは、15日に2W・8,000億円がオファーされ、落札額2,331億円（期落ち額1,430億円）の札割れとなった。

●レポ市場

今週のO/NGCは、週を通して投資家のオファーが薄く、レートは低位で推移した。

13日のS/Nは、積み期の最終日にあたり、投資家勢のオファーが少なく、▲0.105～▲0.095%と低位での出会いとなった。翌14日のS/Nは、新積み期入りとなり、引き続き投資家の資金調達ニーズが薄く、レートは前日から横ばいの▲0.105～▲0.095%での出会いであった。翌15日は、ビッドサイドの業者の玉確保ニーズが強まり、▲0.115～▲0.10%での出会いとレートが低下した。16日は、引き続き業者の玉確保ニーズの強まりから、▲0.115～▲0.095%での出会いとなった。

SCについては引き続き10Yの330番から340番台でタイトなレートで取引される銘柄が多く見られた。個別銘柄では2Y383～385、5Y130～134、10Y334～349、などのカレント近辺の銘柄にビッドが多くみられた。

●短国市場

今週の短国市場は、日銀買入オペや海外需要への期待からか全般的に堅調な相場展開となった。

15日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.16～▲0.158%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1607%、按分落札利回▲0.1563%と強い結果となった。セカンダリーでは▲0.17～▲0.165%の出会いが見られる等、強含みで推移した。

16日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.162～▲0.16%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1627%、按分落札利回▲0.1607%と引き続き強い結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、5,000億円程度の償還に対して8,000億円程度の発行が見られた。連日商社の大型発行が実施されたほか、電機、ゴム、住宅業態等からまとまったロットでの発行が見られた。市場残高は、2月に入ってから事業法人の発行がやや鈍っているため、18兆円台で推移していた1月終盤から減少し、17兆円台前半での推移となった。発行レートは、15日までは、CP等買入オペの足切水準が低下していなかったことに加え、事業法人の四半期末越えの発行案件が殆ど見られなかったこともあって、a-1格銘柄で0%付近での決着が中心で、低いものでも▲0.001%程度での決着にとどまった。しかし、16日には前日のオペの影響もあってか、玉の買い需要がやや強まり、▲0.002%台の決着も見られた。

CP等買入オペは、15日に事前予定通りの前回比同額の2,500億円でオファーされた。今回のオペでは、ディーラーの売却ニーズの高い銘柄が買入対象とならなかったことや、2月に入り市場残高が伸び悩んでいることもあり、平均落札レートは▲0.003%、按分落札レートは▲0.005%の結果と、いずれも前回比で低下した（前回平均0.000%、按分▲0.001%）。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 （億円）
2/12（月）						
2/13（火）	21,244.68	0.065	108.72	△ 0.032	△ 0.099	3,604,500
2/14（水）	21,154.17	0.060	107.10	△ 0.029	△ 0.098	3,623,400
2/15（木）	21,464.98	0.060	106.58	△ 0.033	△ 0.099	3,684,200
2/16（金）	21,720.25	0.055	105.70	△ 0.042	△ 0.098	3,659,700

来週（2月19日から2月23日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/19 (月)	1月の貿易統計(財務省 8:50)				New York祝日 (Presidents' Day)
2/20 (火)		流動性供給 5,500億円 2/22発行	交付税借入 10,500億円 2/28借入		
2/21 (水)	松江支店開設100周年記念講演会にて布野審議委員講演 月例経済報告(内閣府)				1月の米中古住宅販売
2/22 (木)		TB3M 44,000億円 2/26発行	20Y 10,000億円 2/26発行	交付税借入 10,500億円 3/6借入	10-12月期の英GDP改定値
2/23 (金)	1月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 1月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				1月のユーロ圏消費者物価指数改定値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/19 (月)	200	▲ 3,600	▲ 3,400	全店共通 国債買入 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 1,400 ▲ 100 700	2,300 10,500 600	12,600	9,200	TB3M発行▲44000償還39800
2/20 (火)	0	▲ 20,000	▲ 20,000	CP買入		2,500	2,500	▲ 17,500	TB1Y発行▲22000償還5400 流動性供給▲4000 エネルギー対策借入▲5000期日4500
2/21 (水)	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
2/22 (木)	▲ 1,000	▲ 6,000	▲ 7,000				0	▲ 7,000	流動性供給▲5500 交付税借入▲10500期日10500
2/23 (金)	▲ 2,000	1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
週 間 合 計	▲ 3,800	▲ 26,600	▲ 30,400	—	▲ 800	15,900	15,100	▲ 15,300	

2/19は日銀予想、2/20以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、20日にTB1Y物の発行超過による資金不足が予想される。無担保コールO/N加重平均レートは、積み序盤であることから落ち着いた動きが予想されるものの、試し取りが増える時期でもあることから、レートが突発的に上昇する可能性も考えられる。

レボ市場は、投資家の資金調達ニーズや業者の担保確保ニーズの動向が注目される。

短国市場は、22日に3M物の入札が実施予定となっており、引き続き海外需要や買入オペの動向が注目される。短国買入オペは19日と23日に実施される見通し。19日は12,500億円程度、23日は7,500億円程度が予想される。

CP市場は、23日にCP等買入オペが予定されている。四半期末を控えてオペレート低下への期待感も熾る中、レート動向の如何が注目される。

主要なイベントとしては、23日に1月の全国CPIが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまふようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入